

サマリア (2004)

SAMARITAN GIRL
SAMARIA

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 韓国

色彩 Color

時間 95分

初公開日 2005/03/26

公開情報 東芝エンタテインメント

映倫 R-15

【キャッチコピー】

この痛みを抱いて生きる

切なく残酷なまでに美しい、旅立ちの物語がいま始まる…

【解説】

「悪い男」「春夏秋冬そして春」の鬼才キム・ギドク監督が、援助交際に走る10代の少女2人の瑞々しい友情と、それが引き起こす悲劇の顛末を、寓意を多用し残酷かつ包容力に満ちたタッチで描いた美しくも悲しい物語。全体が三部で構成され、それぞれ、男に身体を売る少女チェヨンとそれを複雑な想いで見つめる見張り役の親友ヨジン（第一章「バスミルダ」）、親友を失ったヨジンが罪を贖うために始めたある行動（第二章「サマリア」）、娘ヨジンの行いを知った父親の苦悩と決意（第三章「ソナタ」）を描く。2004年のベルリン国際映画祭で最優秀監督賞に当たる銀熊賞を受賞。

女子高生のヨジンは刑事をしている父ヨンギと2人暮らし。親友で同級生のチェヨンはヨジンと2人でヨーロッパ旅行に行くためと、いつの間からか援助交際をするようになっていた。屈託ない笑顔を絶やさず、ためらうことなく男に身体を売るチェヨンに抵抗を感じながらも、彼女が心配なヨジンは見張り役として行動を共にしていた。そんなある時、警官の取締りが入り、それを逃れようとしたチェヨンはホテルの窓から飛び降り、命を絶つ。チェヨンの死で強い自責の念を抱いたヨジンは、罪滅ぼしのために、もういらなくなった金を返すため、チェヨンの援交相手のもとを訪ねて回ることに。やがてヨジンの行動を知った父ヨンギは衝撃を受けると共に、激しい怒りを男たちへと向けるのだった…。

【クレジット】

監督	キム・ギドク	Kim Ki-duk
製作総指揮	キム・ドンジョ キム・ユンホ	
プロデューサー	ベ・ジョンミン	
脚本	キム・ギドク	Kim Ki-duk
撮影	ソン・サンジェ	
編集	キム・ギドク	Kim Ki-duk
音楽	パク・ジウン	
照明	イ・ソンファン	
出演	クァク・チミン	ヨジン
	ソ・ミンジョン	チェヨン
	イ・オル	ヨジンの父親ヨンギ
	クオン・ヒョンミン	

オ・ヨン
イム・ギュノ
イ・ジョンギル